

[3] 1920～1930 年代 -1-

(1) 暗黒大陸と戦争

1920年代は、1927年5月21日にリンドバークが大西洋無着陸横断飛行に成功し、1929年10月24日に「暗黒の木曜日」といわれています、ニューヨーク株式市場の大暴落が起こり、経済の大恐慌が始まりました。

1939年9月5日に第2次世界大戦の勃発、1941年12月7日に太平洋戦争の勃発、1945年8月14日に太平洋戦争の終了といったように、不景気と戦争に明け暮れた年代でした。

(2) 小売業の動向

1920年代から30年代にかけて熱狂的といえるくらい拡大したチェーンが、40年代は停滞もしくは減少を起こしました。これはとりもなおさず、暗黒の木曜日と第2次世界大戦のなせるワザであると同時に経営基盤の地固めや、店舗に人員を配置することが不可能であったこともあげられています。

(3) ゼネラル・マーチャンダイズ・ストア

1902年創業の総合衣料品のチェーン・ストアである「J. C. ペニー (J. C. Penny)」は、都市化の発展と共に農村部中心のメール・オーダー・ハウスから店舗販売に転換していくと同時に、衣料品からGMSへと、「シアーズ」が1925年、「モンゴメリーワード」が1927年に出店を開始し、GMS時代の幕開けとなりました。

(4) ボランタリー・チェーンの組織化

チェーン・ストアの発展は、独立小売店に大きな影響を与えずにはおかず、一部の小売業者は自営のための組織づくりを行いました。小売業者の組織化としては、コーペラティブ・チェーンがありましたが、むしろ活発な動きを示したのが、卸売業者が中心となって組織化を行ったボランタリー・チェーンで、1926年にIGC、1931年に「レッド・アンド・ホワイト (Red and White)」等でありましたが、食品の分野だけしか成功せず、チェーン・ストア反対運動へと展開していきました。

(5) マイケル・カレンがスーパー・マーケット (SM) を創造

アメリカの大恐慌の最中に生まれたのが、1930年のマイケル・カレンによるスーパー・マーケットの第1号である「キング・カレン (King Kullen)」です。彼はセルフ・サービス方式を採用し、お客様が商品を自由に選択してもらおうという楽しさを提供する反面、スタッフを最小限にとどめ、最低のマージンで、最高の回転率をあげることにより、最大の利益をあげるシステムを創造しました。

Mail to: franchise-news@the-franchise.co.jp

発行者：株式会社 日本フランチャイズ総合研究所

代表取締役所長 内川 昭比古

〒102-0083

東京都千代田区麹町 4-4 麹町シャインビル 2 F

TEL 03-3511-3755 (代)

FAX 03-3511-3754

<http://www.the-franchise.co.jp>

Mail to: franchise-news@the-franchise.co.jp